

平成 27 年 1 2 月 1 5 日

各運送事業者殿

北海道トラック輸送における取引  
環境・労働時間改善地方協議会  
座 長 千 葉 博 正

北海道のトラック輸送に係る実態調査のご協力方お願いについて

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、ご既承のとおりトラック運送業は長時間労働の傾向が強く、運転者不足の要因のひとつとなっており、その改善が業界の喫緊の課題となっております。

さらに平成 31 年 4 月からは、月 60 時間を超える部分の時間外労働の賃金割増率が現行の 25% 以上から 50% 以上に引き上げられる方向で法改正の動きが進んでおり、輸送コスト増大の面からも対策が必要となっております。

このような実態に対処するため、厚生労働省及び国土交通省並びに（公社）全日本トラック協会の主導により、中央において「トラック輸送における取引環境・労働時間改善中央協議会」が設置され、その会議の決定により、トラック輸送の長時間労働の実態を明らかにし、その改善策に資するため、本年 9 月に全国規模で統一した実態調査が実施されたところであります。

しかしながら、北海道は他の都府県とは異なり、本州方面への輸送を陸路のみで完結できず、域内においても輸送距離が長い等、特殊事情があるため、私ども地方協議会において、北海道特有の事情を把握するため、フェリー利用の問題等について独自調査を実施することといたしました。

つきましては、年末の業務ご多用の折、恐縮に存じますが、本調査の趣旨をご理解のうえ、調査にご協力下さるようお願い申し上げます。

なお、ご回答は別紙調査票に該当事項記入の上、平成 28 年 1 月 8 日までに別添封筒で郵送下さるようお願い申し上げます。

※本調査の内容は統計処理のみに用い、個々のデータは外部に公表いたしません。

## 北海道のトラック輸送に係る実態調査

会社名 \_\_\_\_\_

### I. フェリー利用について

問1. 北海道～本州間フェリーの延利用回数を記入してください。(上りのみ)

発地		着地		平成26年9月～11月		平成27年9月～11月	
				有人航送	無人航送	有人航送	無人航送
a	函館	①	青森				
		②	大間				
b	苫小牧	③	八戸				
		④	仙台				
		⑤	大洗				
		⑥	名古屋				
		⑦	秋田				
		⑧	新潟				
		⑨	敦賀				
c	小樽	⑩	新潟				
		⑪	舞鶴				
その他							
合計							

■以下の質問について該当する方に○を付け、又は選択及び該当事項を記載してください。

問2. 今年と昨年で利用航路を変更したことがありますか(上りのみ)。

(1) ア. はい      イ. いいえ

(2) 「はい」の場合、変更した航路を多い順に問1. の記号(a～c、①～⑪)から選択してください。また、航路を変更した主な理由を記載してください。

○記載例：(b)～(⑤)を(b)～(⑧)に変更

主な理由：(フェリー火災の欠航便の影響により、大洗便を新潟便に代替)

1. ( )～( )を( )～( )に変更

主な理由：( ) )

2. ( )～( )を( )～( )に変更

主な理由：( ) )

3. ( )～( )を( )～( )に変更

主な理由：( ) )



1. ( ) ~ ( ) を ( ) ~ ( ) に変更  
主な理由：( )
2. ( ) ~ ( ) を ( ) ~ ( ) に変更  
主な理由：( )
3. ( ) ~ ( ) を ( ) ~ ( ) に変更  
主な理由：( )

(3) 「はい」の場合で、トラックによる経路、運行等に変更がありましたら記載してください。例：苫小牧～八戸航路の利用で、根室発が可能になり、新たに路線を開設。

- (4) 「いいえ」の場合、変更しなかった理由（複数可）を選択又は記入してください。  
①特になし ②運賃 ③時間 ④施設 ⑤人員 ⑥道路  
⑦その他 ( )

問7. 3年後に室蘭～宮古間にフェリー新規航路が開設されますが、利用したいと思いませんか。

- (1) ア. 是非利用したい イ. 条件が合えば利用したい ウ. どちらともいえない  
エ. あまり利用しない オ. 利用しない
- (2) イ. の場合、どの条件が合えば利用したいですか。該当項目（複数可）を選択又は記載してください。  
①運賃 ②時間 ③施設 ④人員 ⑤道路 ⑥その他 ( )
- (3) エ. オ. の場合、利用しないと思った理由（複数可）を選択又は記載してください。  
①運賃 ②時間 ③施設 ④人員 ⑤道路 ⑥その他 ( )

参考：川崎近海汽船株式会社ホームページ情報

- ・ 航路：室蘭港～宮古港（325km）
- ・ 航路開設時期：2018年春
- ・ 運航：1日1往復、通年運航（航海時間10時間）
- ・ 地元自治体がフェリー航路誘致に積極的
- ・ 三陸沿岸道路、宮古盛岡横断道路開通予定により、宮古～岩手県内、仙台、首都圏へのアクセスが大幅に向上
- ・ フェリー乗船中に継続して8時間の休息期間取得が可能

## Ⅱ. 中継輸送について

問1. 長距離輸送について、中継基地を設けている区間がありますか。

ア. はい      イ. いいえ

問2. 問1で「はい」の場合、中継基地を設けている区間の発着地点、中継基地の場所はどこですか。

(市町村名を記入)

発 地	着 地	中継場所

問3. 問1で「はい」の場合、中継基地を設けた理由は何ですか。(複数回答可、

⑤その他の場合は具体的に記載してください)

( )

- ①運送距離が長すぎて改善基準などの遵守が困難なため
- ②車両を効率的に運用できるため
- ③途中で荷物を積み替えたり、一台に共積みする必要があるため
- ④運送ルートを他業者と分担していて、そこで受け渡しを行うため
- ⑤その他 ( )

問4. 問1で「はい」、「いいえ」どちらの場合でも、今後新たに中継基地を設けたいと考えている区間がありますか。

(市町村名を記入)

発 地	着 地	中継場所

問5. 問1で「はい」、「いいえ」どちらの場合でも、中継基地を設けたいのに設けられない場合の理由、或いは設けることの障害となっている理由は何ですか。(複数回答可、

⑤その他の場合は具体的に記載してください)

( )

- ①運転者や車両が不足しているため
- ②中継基地を設けるためのコストがかかるため
- ③中継基地とする適当な場所がないため
- ④帰りの車両に積み込むための荷物の確保が困難なため
- ⑤その他 ( )

### Ⅲ. 荷役の実態と荷役事故防止について

問1. 荷主先での荷物の積み降ろしは、誰が行っていますか。

(荷主によって異なる場合は、多い例をご記入ください)

ア. 発荷主の場合：( ) イ. 着荷主の場合：( )

- ①運転者
- ②荷主の作業員
- ③運転者と荷主の作業員が一緒に行く
- ④他の業者に請負、委託している

問2. 荷役作業中の労働災害を防止するために、どんなことを行っていますか。

(複数回答可、⑨その他の場合は具体的に記載してください)

( )

- ①パワーゲート付き車両の導入
- ②ロールボックスパレットの使用
- ③フォークリフト等の専用機械の使用
- ④作業場所への関係者以外の立入禁止
- ⑤荷台への昇降設備の用意
- ⑥保護帽・安全靴の使用
- ⑦運転者への安全衛生教育
- ⑧プラットフォームの整備など荷主への施設改善の要望
- ⑨その他 ( )

問3. 荷役作業中の労働災害を防止するために荷主に行ってもらいたいことがありますか。(複数回答可、⑤その他の場合は具体的に記載してください)

( )

- ①プラットフォームの設備など施設改善
- ②フォークリフト等の専用機械の備付と使用の許可
- ③荷台への昇降設備の用意
- ④十分な作業場所の確保 (作業場所の区別や通行人の立ち入り禁止)
- ⑤その他 ( )